

♪のびやかな音楽 観客魅了♪

第14回音の祭典 in YAWATA



美しいハーモニを奏でる南山小学校音楽クラブ員たち

子どもから大人まで幅広い世代の音楽好きが集まった「第14回音の祭典 in YAWATA」が11月11日、市文化センターで行われました。出演した10団体ののびやかな音色や歌声で訪れた観客約590人を魅了しました。

第14回音の祭典 in YAWATA

同祭典は市や教育委員会などの共催。「みんなで創ろう♪音楽のまち・やわた」をテーマに市民の文化芸術活動への参加促進が目的です。

「夢をかなえてドラえもん」と「栄光の架橋」を演奏した南山小学校音楽クラブ員22人はトランペットやドラムなど5種類の楽器による美しいハーモニを奏で、会場を沸かせていました。

△出演団体▽
南山小学校音楽クラブ、美濃山小学校、さくら小学校、八幡市少年少女合唱団、和っ鼓、WIND PLAYERS、クライン・ウインド・オーケストラ、八幡市民吹奏楽団、男山第三中学校吹奏楽部、男山中学校吹奏楽部

※広報やわた11月号に掲載しました出演団体に一部誤りや漏れがありました。関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び致します。
(社会教育課)

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。

右見て左見て手を挙げて



手を挙げて横断歩道を渡る園児たち

園児61人 交通ルール学ぶ

ヤマト運輸㈱の社員による交通安全教室が11月5日、八幡第二幼稚園で行われました。園児61人は同社社員が実際の集配車を用いて演じる寸劇などを通じて交通ルールを学びました。同教室は同園とPTAが園児たちの日常生活での交通事故を防ごうと企画しました。

寸劇では車の下に入ったボールを取ろうとしたり、道に飛び出した子どもが車にひかれそうになる場面を再現し、対処法を説明。

その後、二人一組になった園児たちは手を挙げて左右の安全を確認してから横断歩道を渡る練習をしました。

また、園児が車の前にかがみ、車の運転席から見えない範囲があることを学びました。

最後に、園児たちは「①車の下には入らない②車の周りで遊ばない③横断歩道は手を挙げ、安全を確認してから渡る」とみんな一緒に大きな声で約束していました。

「愛の貯金箱」開封作業 八幡市老人クラブ連合会

市老人クラブ連合会の会員が「1日1円」を合言葉に1年かけてためた「愛の貯金箱」の開封作業が11月12日、老人憩いの家「八寿園」で行われました。

昭和56年から始まった「愛の貯金箱」は今年で32回目。2月に約3800世帯に貯金箱を配布し、買い物の釣銭などをこつこつためてきました。

女性部長など約80人の会員たちが5つのテーブルに分かれて一斉に貯金箱を開封すると、見る見るうちにテーブルの上に会員たちの善意が詰ま

った硬貨の山が出来上がりました。

会員たちが1円玉とその他の硬貨に心を込めて仕分けし、金種毎に袋詰めした善意金は市内7カ所の郵便局で集計されました。

この寄せられた善意金約115万円は全額が市に寄付され、地域福祉に役立てられます。

同連合会会長の高本茂之さんは「これほど多くの善意金が集まり、感謝でいっぱいです。今後も長く続けていきたい」と話していました。



「愛の貯金箱」の硬貨などを仕分ける女性会員たち

地域の力で防ごう犯罪

地域の力で犯罪を防ごうと「安全・安心のまちづくりパレード」が11月23日、美濃山小学校周辺で行われました。

約1000人の市民が参加し、犯罪のない安全・安心のまちづくりの推進を呼び掛けました。

同パレードは市自治連合会が主催。市内を6地域に分けて毎年開催し、今年で9回目です。

出発前の記念式典で、同連合会会長の上原嘉昭さんは「小学生の登下

校の見守りなど、地域活動の積み重ねが犯罪を抑止し、住んで良かったと思えるまちづくりに繋がります」と挨拶。また、「安全・安心のまちづくり」に貢献された5人を表彰しました。

パレードはパトカーや京都府警察平安騎馬隊が先導。黄色の防犯ベストを着用した参加者たちが横断幕や「振り込め詐欺に注意」などと書かれたプラカードを掲げながら小学校周辺を練り歩きました。



横断幕を掲げて練り歩く参加者たち